



**創造と挑戦**  
先進エレクトロニクスで未来を創造する  
ソリューションデザインカンパニー

**2021年3月期**

**萩原電気ホールディングス株式会社**

(東証・名証一部 7467)

**2021年6月8日**

# 目次

---

決算のポイント

2021年3月期決算概要

2022年3月期業績予想

新中期経営計画

# 決算のポイント

2021年3月期決算概要

2022年3月期業績予想

新中期経営計画

## 決算のポイント

---

主要得意先の生産回復や商流移管はあったものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、減収減益

2022年3月期は積極的な拡販活動により増収増益を見込む

決算のポイント

## 2021年3月期決算概要

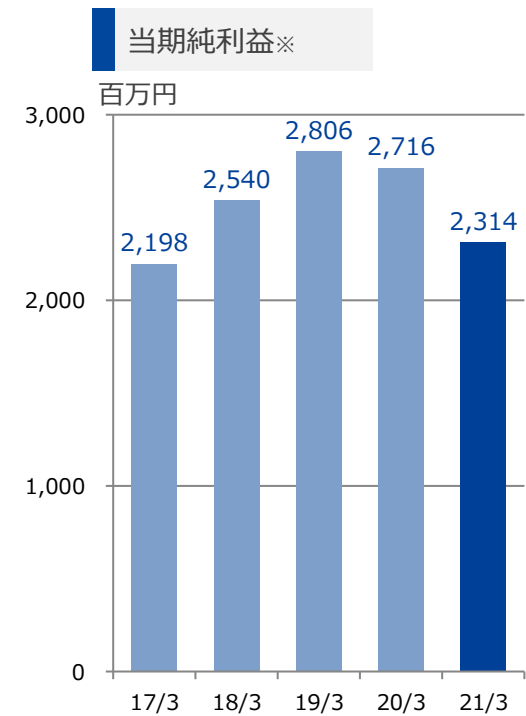
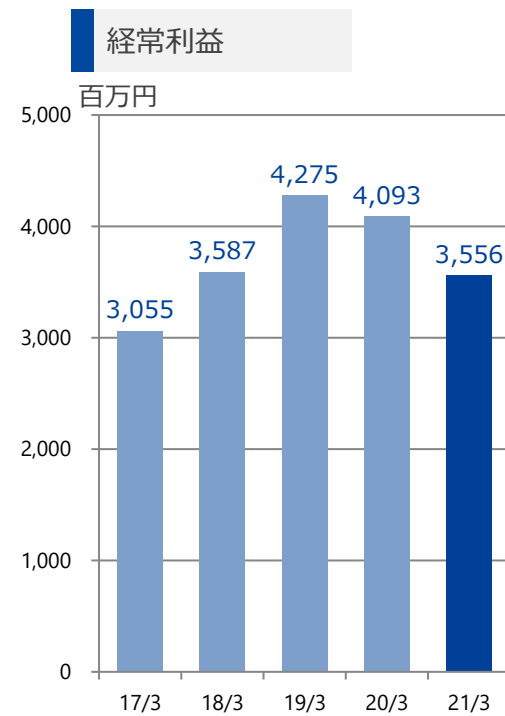
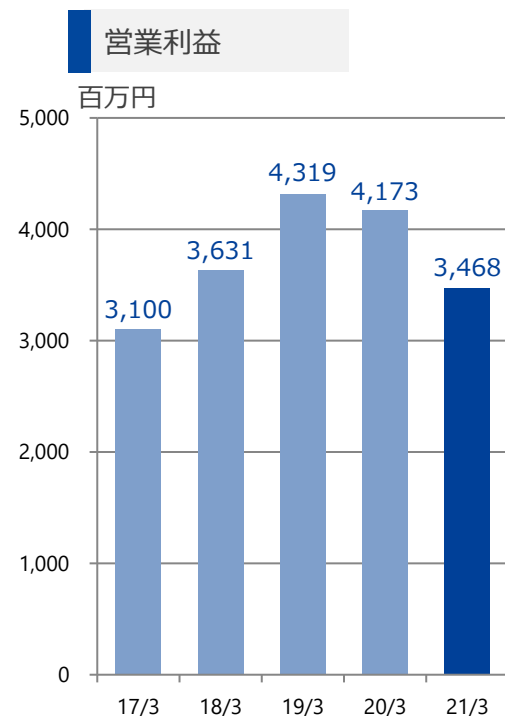
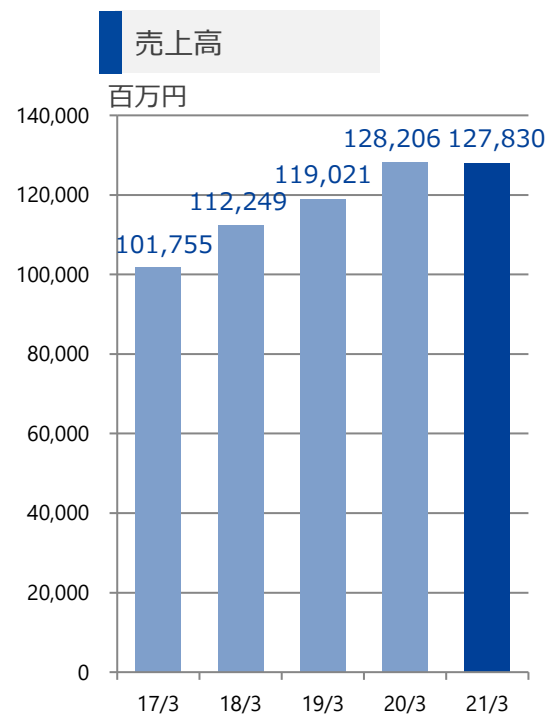
2022年3月期業績予想

新中期経営計画

# 2021年3月期決算概要

百万円

	2020年3月期		2021年3月期		前期比		予想比	
	金額	構成比	金額	構成比				
売上高	128,206	100%	127,830	100%	▲375	▲0.3%	+9,830	+8.3%
営業利益	4,173	3.3%	3,468	2.7%	▲704	▲16.9%	+418	+13.7%
経常利益	4,093	3.2%	3,556	2.8%	▲537	▲13.1%	+556	+18.6%
当期純利益※	2,716	2.1%	2,314	1.8%	▲401	▲14.8%	+414	+21.8%

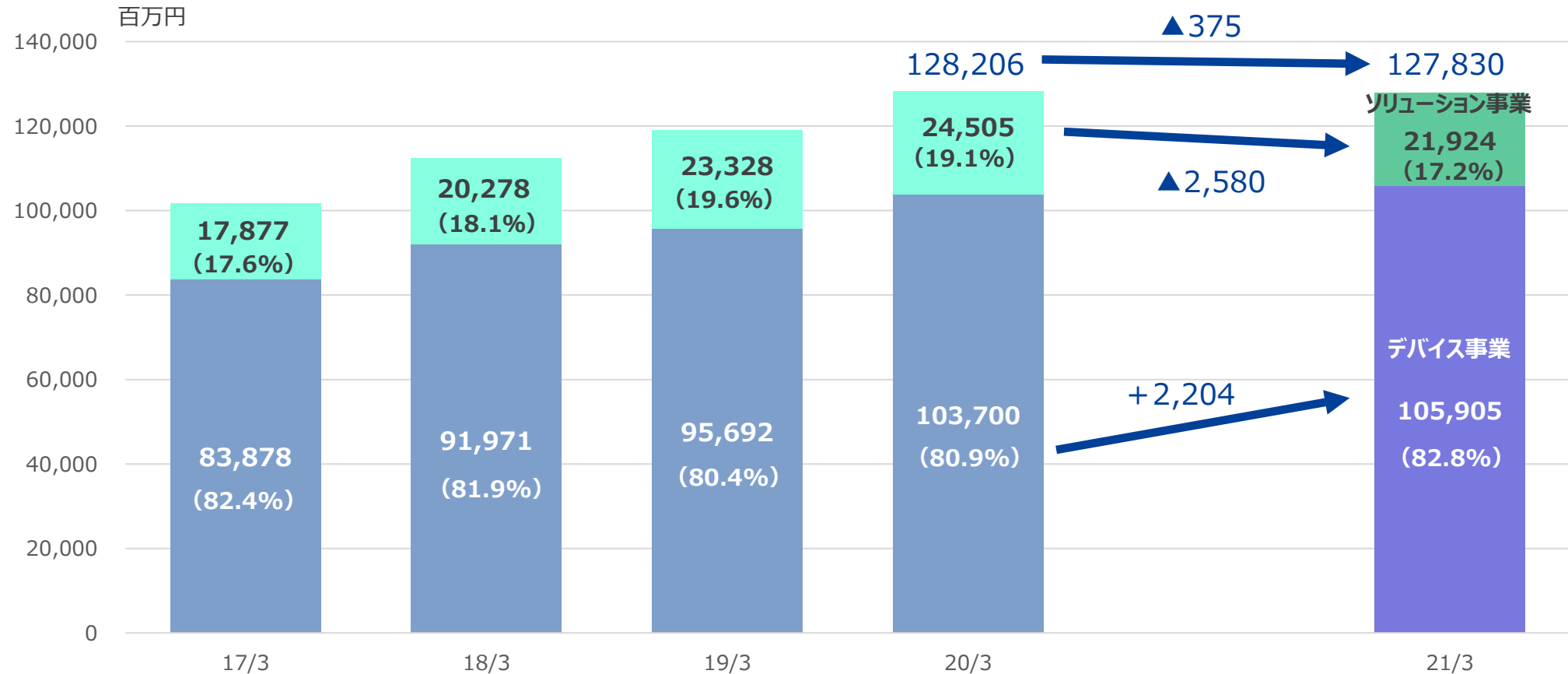


※親会社株主に帰属する当期純利益

# 売上高の状況

デバイス事業は増収、ソリューション事業は減収

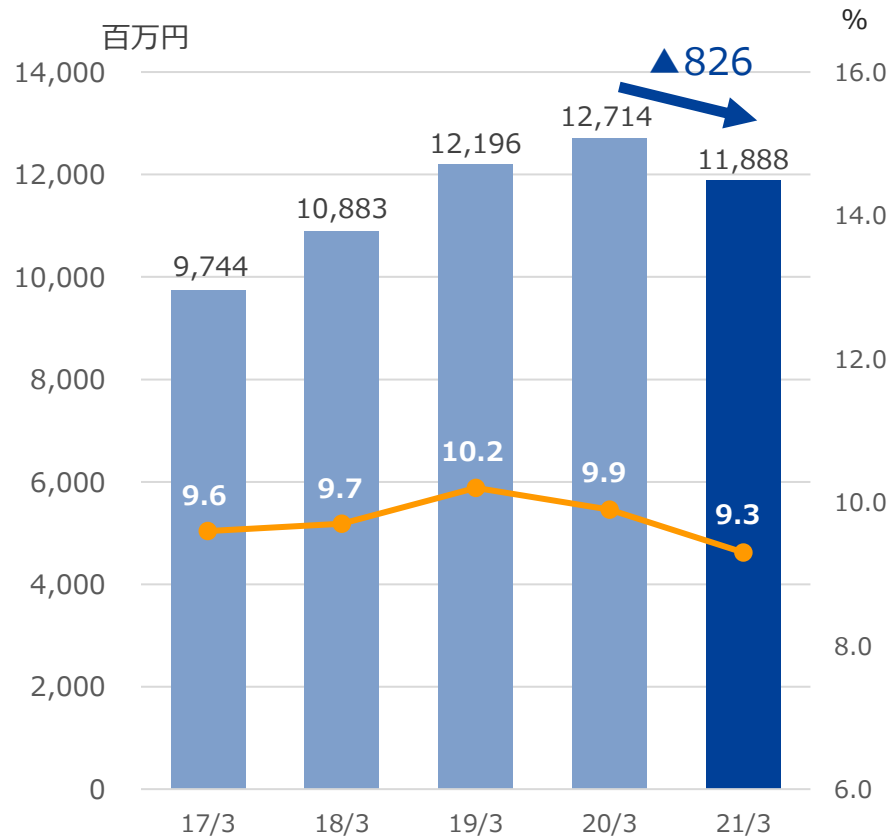
セグメント別売上高推移



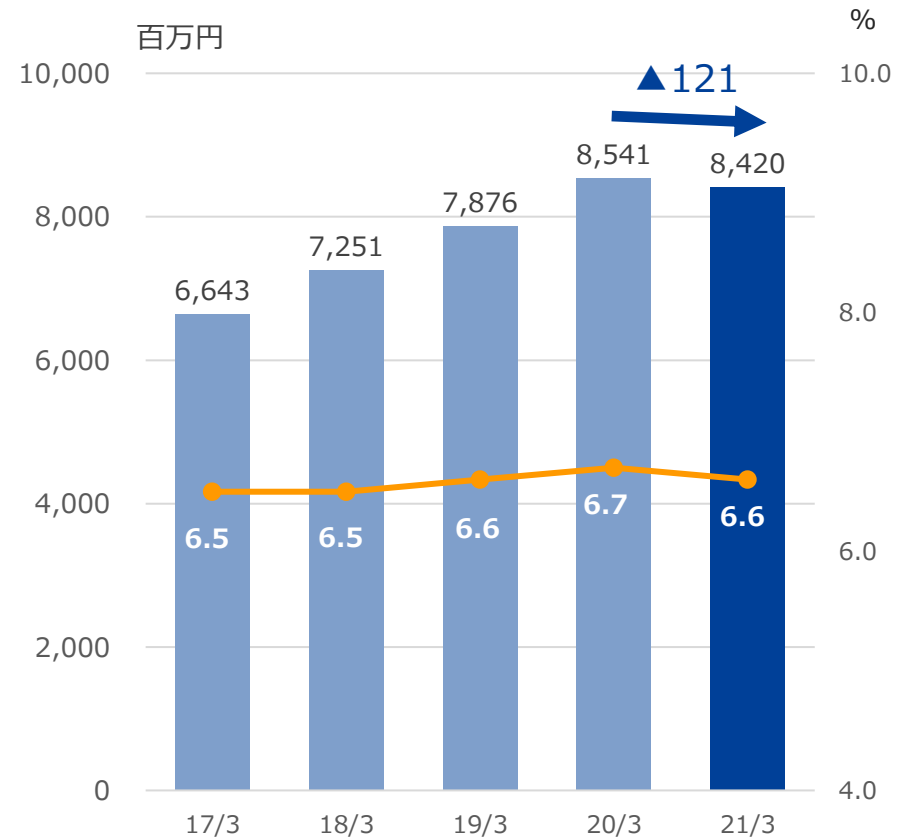
# 利益の状況

売上総利益の減少が、販管費の減少を上回る

売上総利益・売上総利益率



販管費・販管費率





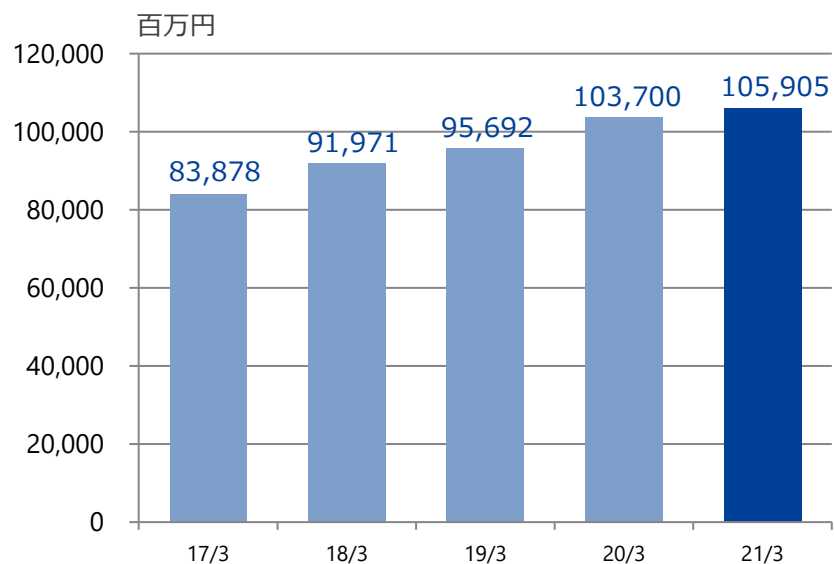
# デバイス事業 業績概要

得意先生産の回復や商流移管などにより売上高は増加したものの、物流費増加や材料費高騰の影響により減益

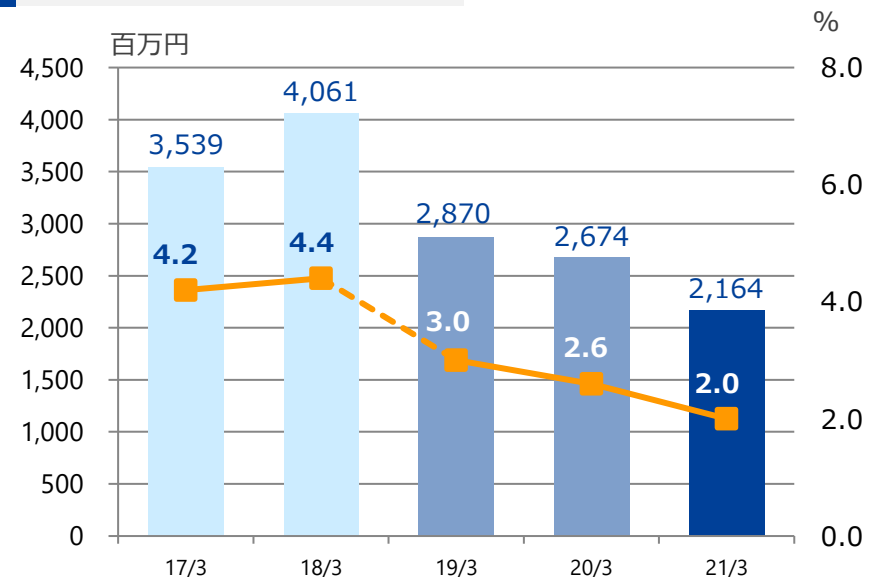
百万円

	2020年3月期		2021年3月期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	103,700	100.0%	105,905	100.0%	+2,204	+2.1%
セグメント利益	2,674	2.6%	2,164	2.0%	▲509	▲19.1%

## 売上高



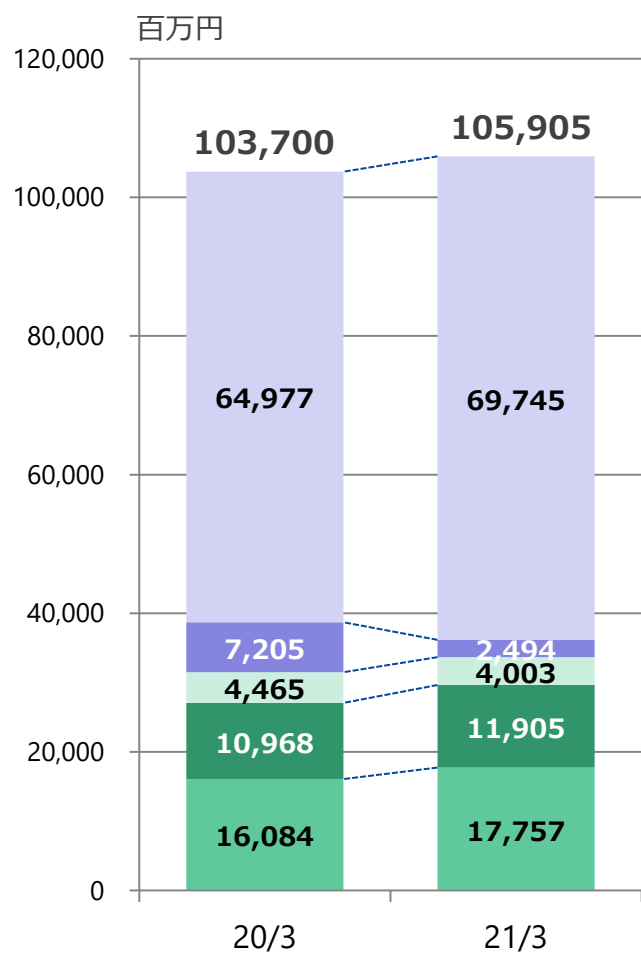
## セグメント利益・セグメント利益率



※2019年3月期よりセグメント利益の算定方法を変更

# デバイス事業 得意先別売上高前期比較

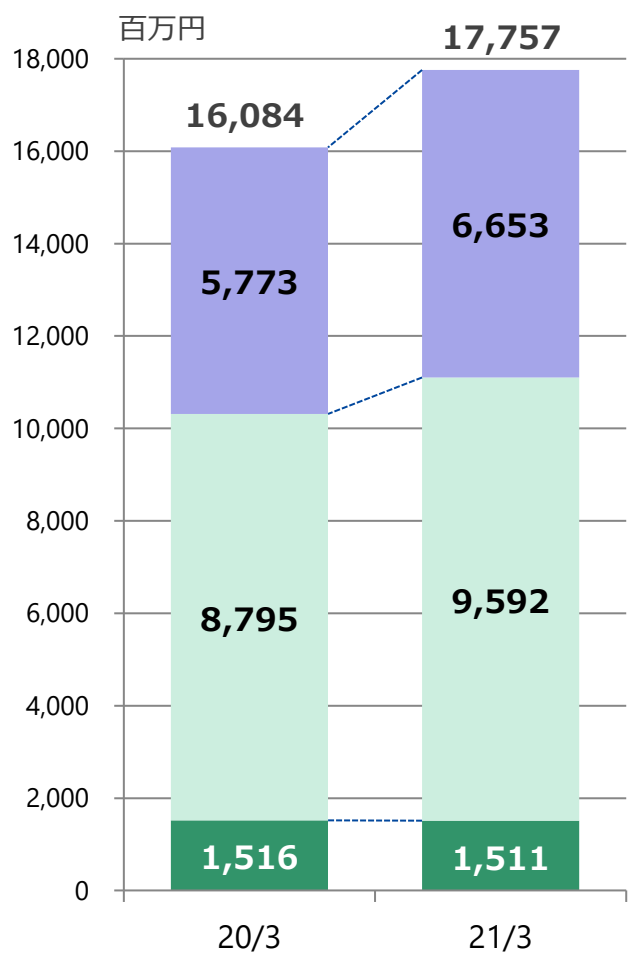
- ・デンソーは、商流移管もあり売上増加
- ・トヨタ自動車は、広瀬工場の事業移管により大きく減少



	2020年 3月期		2021年 3月期		前期比	
デンソー	64,977	62.7%	69,745	65.9%	+4,768	+7.3%
トヨタ自動車	7,205	6.9%	2,494	2.4%	▲4,711	▲65.4%
東海理化	4,465	4.3%	4,003	3.8%	▲462	▲10.3%
その他	10,968	10.6%	11,905	11.2%	+937	+8.5%
海外拠点 得意先	16,084	15.5%	17,757	16.8%	+1,672	+10.4%
合計	103,700	-	105,905	-	+2,204	+2.1%

# デバイス事業 海外地域別売上高前期比較

アジア、アメリカが大きく増加



	2020年 3月期		2021年 3月期		前期比	
	売上高	比率	売上高	比率	増減	増減率
日本	87,616	84.5%	88,148	83.2%	+532	+0.6%
アジア	5,773	5.6%	6,653	6.3%	+880	+15.3%
アメリカ	8,795	8.5%	9,592	9.1%	+796	+9.1%
欧州	1,516	1.5%	1,511	1.4%	▲4	▲0.3%
海外計	16,084	15.5%	17,757	16.8%	+1,672	+10.4%
合計	103,700	-	105,905	-	+2,204	+2.1%

※地域名は拠点の所在地域（グループ内取引は除く）

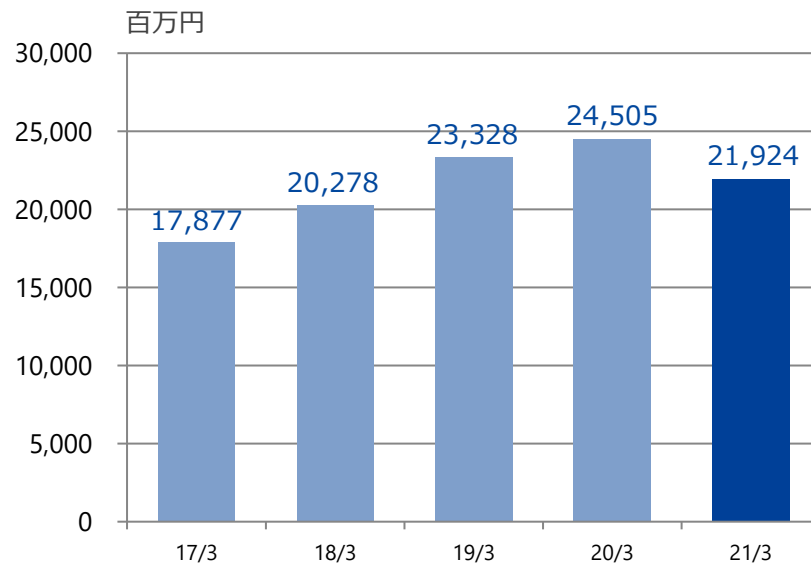
# ソリューション事業 業績概要

## 新型コロナウイルス感染症の影響により減収減益

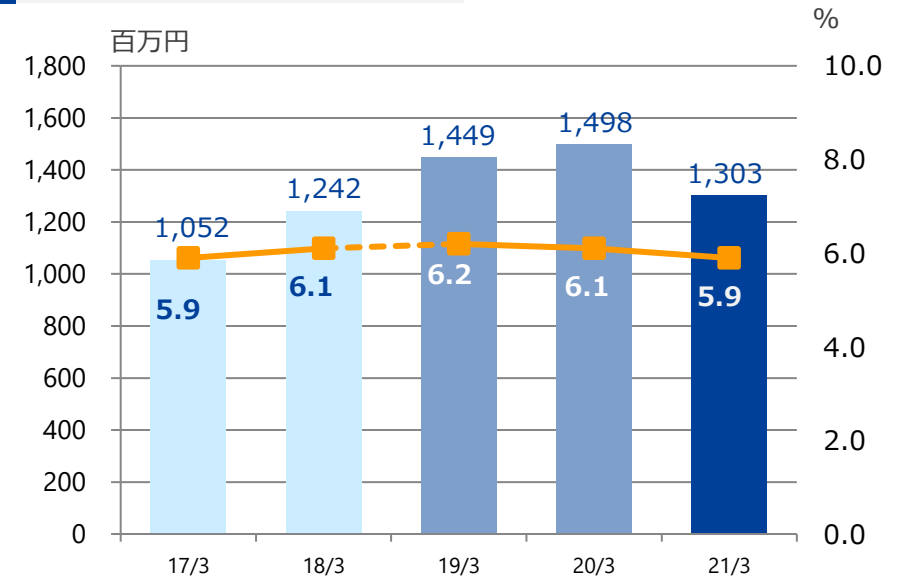
百万円

	2020年3月期		2021年3月期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	24,505	100.0%	21,924	100.0%	▲2,580	▲10.5%
セグメント利益	1,498	6.1%	1,303	5.9%	▲194	▲13.0%

### 売上高



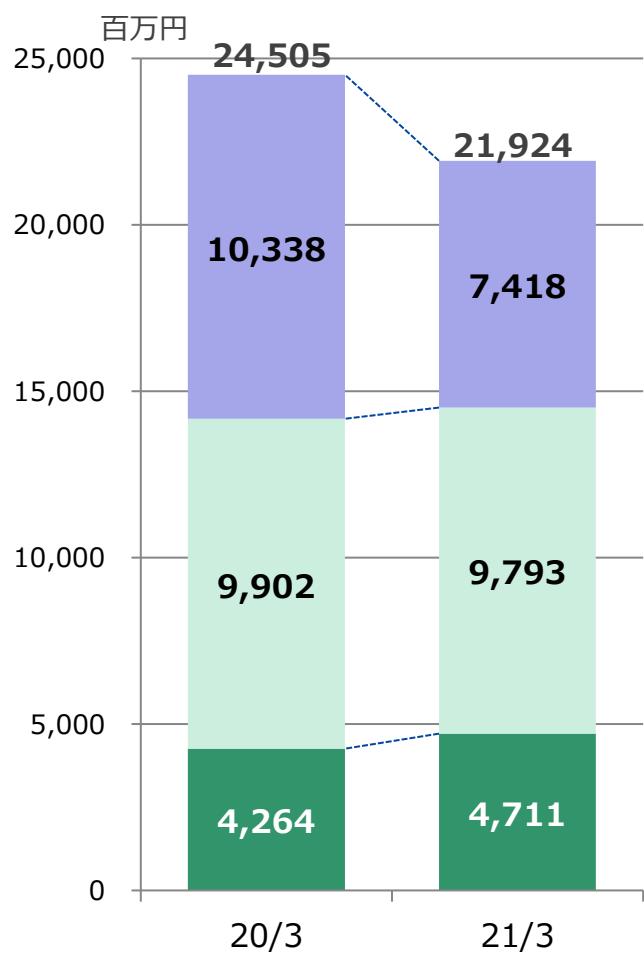
### セグメント利益・セグメント利益率



※2019年3月期よりセグメント利益の算定方法を変更

# ソリューション事業 事業別売上高前期比較

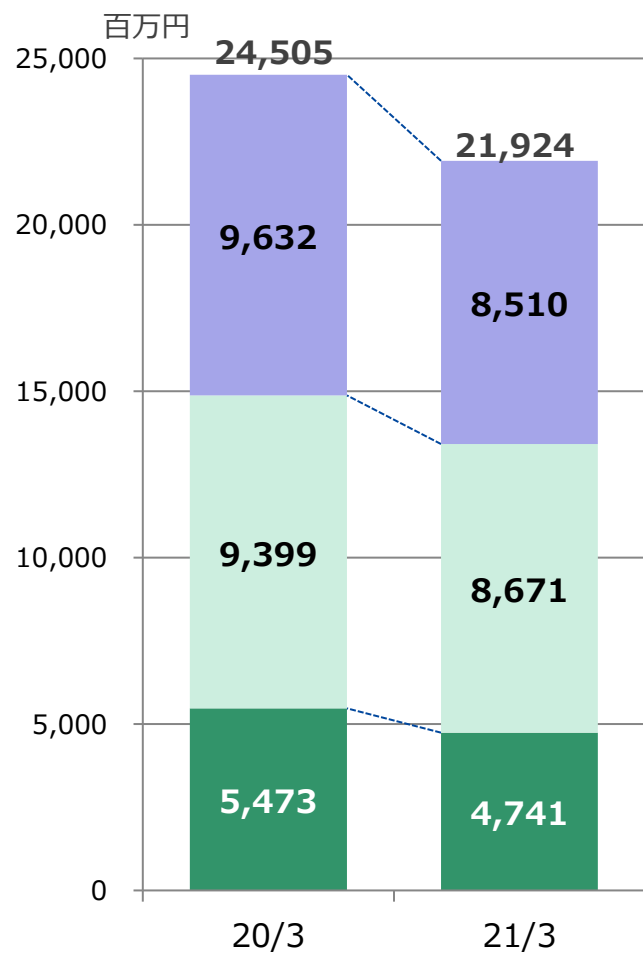
計測は大きく増加したが、ITは新型コロナウイルス感染症の影響を受け大きく減少



	2020年 3月期		2021年 3月期		前期比	
IT	10,338	42.2%	7,418	33.8%	▲2,919	▲28.2%
組込	9,902	40.4%	9,793	44.7%	▲108	▲1.1%
計測	4,264	17.4%	4,711	21.5%	+447	+10.5%
合計	24,505	-	21,924	-	▲2,580	▲10.5%

# ソリューション事業 業種別売上高前期比較

各業種で売上が減少



	2020年 3月期		2021年 3月期		前期比	
	売上高	比率	売上高	比率	売上高	比率
自動車	9,632	39.3%	8,510	38.8%	▲1,121	▲11.6%
FA・産業機器	9,399	38.4%	8,671	39.6%	▲728	▲7.7%
その他	5,473	22.3%	4,741	21.6%	▲731	▲13.4%
<b>合計</b>	<b>24,505</b>	-	<b>21,924</b>	-	<b>▲2,580</b>	<b>▲10.5%</b>

決算のポイント

2021年3月期決算概要

2022年3月期業績予想

新中期経営計画

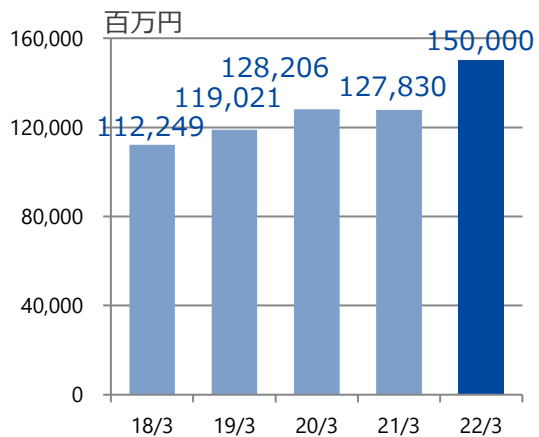
# 2022年3月期業績予想

売上は大きく増加も、利益面は微増を見込む

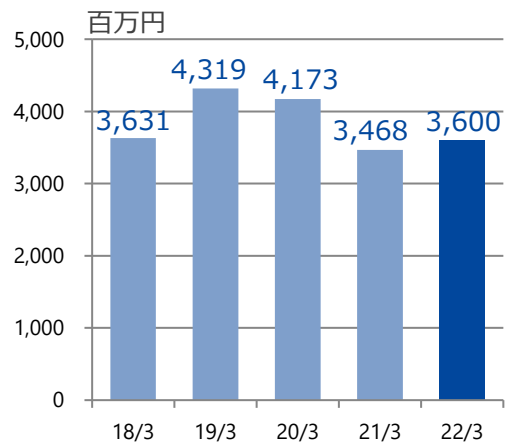
百万円

	2021年3月期	2022年3月期	
	通期	通期	前期比
売上高	127,830	150,000	+22,169 +17.3%
営業利益	3,468	3,600	+131 +3.8%
経常利益	3,556	3,580	+23 +0.7%
当期純利益※	2,314	2,320	+5 +0.2%

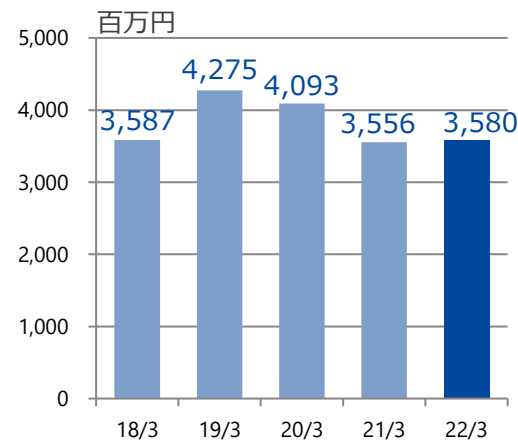
売上高



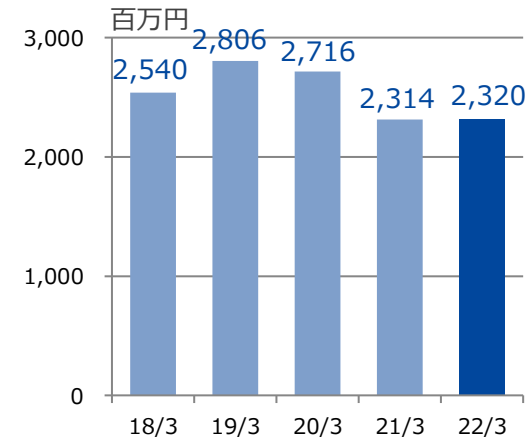
営業利益



経常利益



当期純利益※





# 株主還元

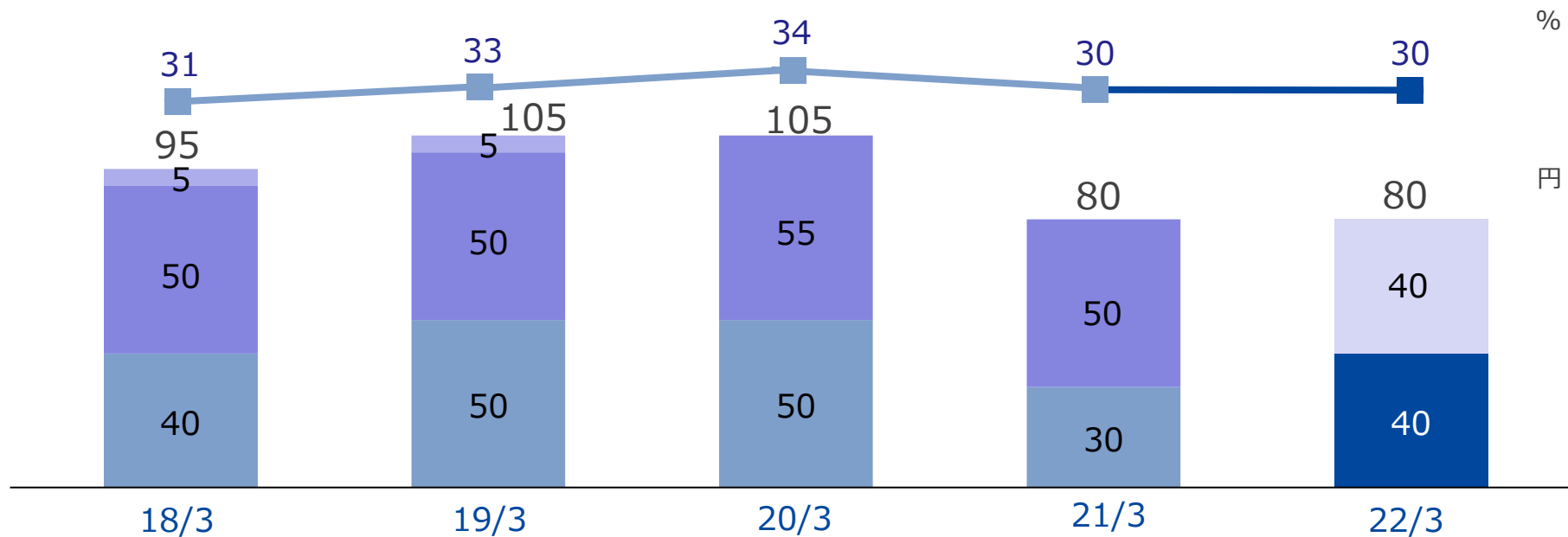
2022年3月期年間配当80円（予定）

## 基本的な配当方針

連結配当性向30%を目途とし連結純資産配当率も勘案したうえで、安定配当をベースに業績に応じた利益配当を行う

1株あたり年間配当金額と配当性向

中間期 ■ 期末 ■ 記念配当



決算のポイント

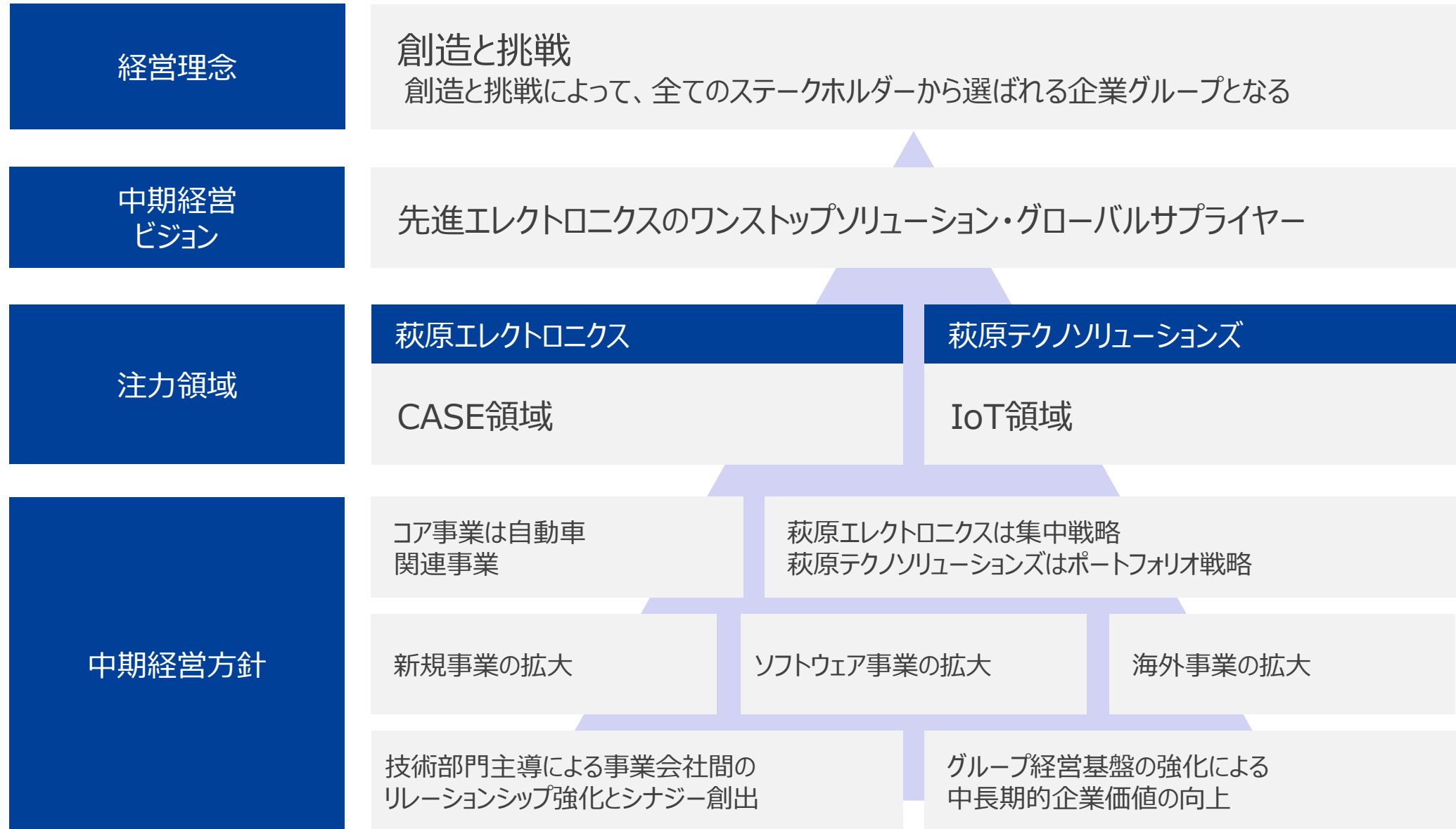
2021年3月期決算概要

2022年3月期業績予想

新中期経営計画

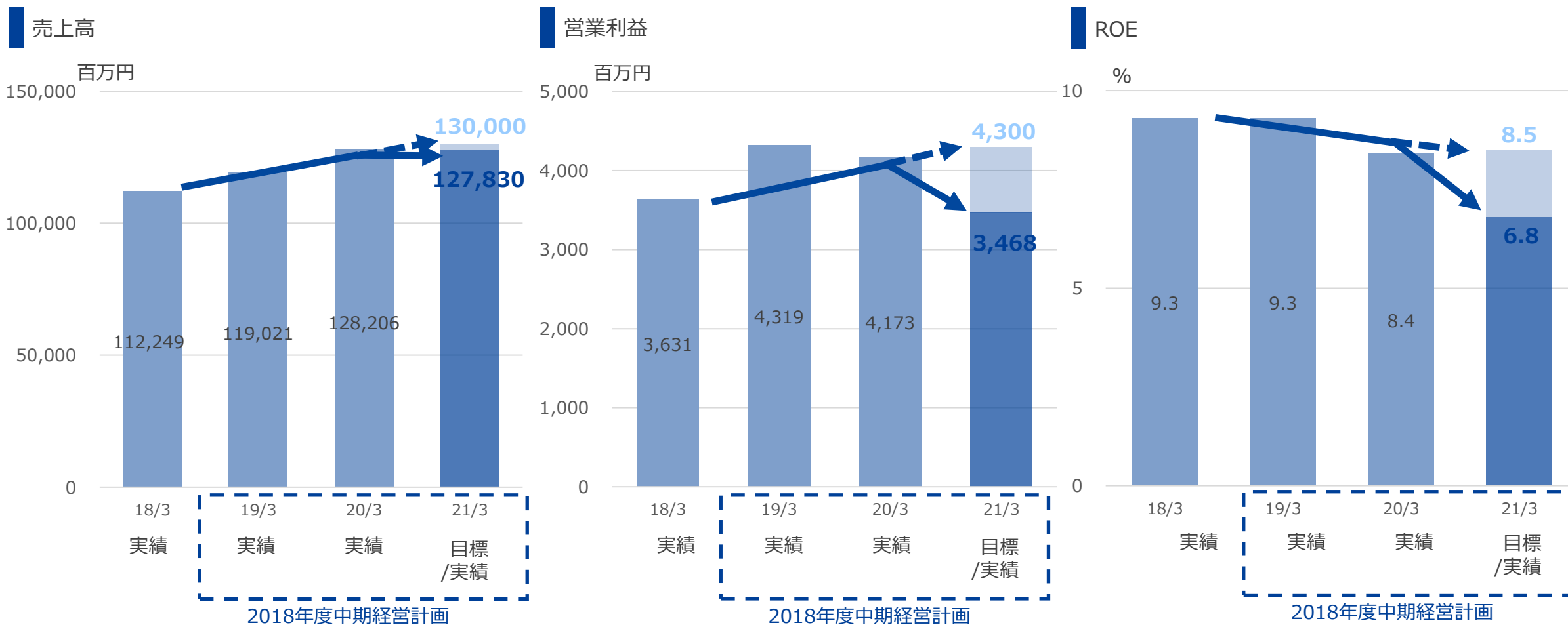
# 前中期経営計画の振り返り

# 前中期経営計画の概要



# 前中期経営計画の数値目標達成状況

■ 数値目標については最終年度の目標に向けて、堅調に推移していたが、  
新型コロナウイルス感染症の影響で目標未達



## 前中期経営計画の取り組みの成果

### 新規事業の拡大

- ・画像処理技術応用で建機分野へのビジネス拡大推進
- ・自動運転システム開発向け、走行データ活用サービスの開始
- ・AI関連企業との資本・業務提携など、パートナー連携により、AIソリューションを拡大

### ソフトウェア事業の拡大

- ・車載ソフトウェアビジネスはAUTOSAR関連、PoC受託開発、モデルベース開発等拡大
- ・ERPソリューションビジネスの拡大

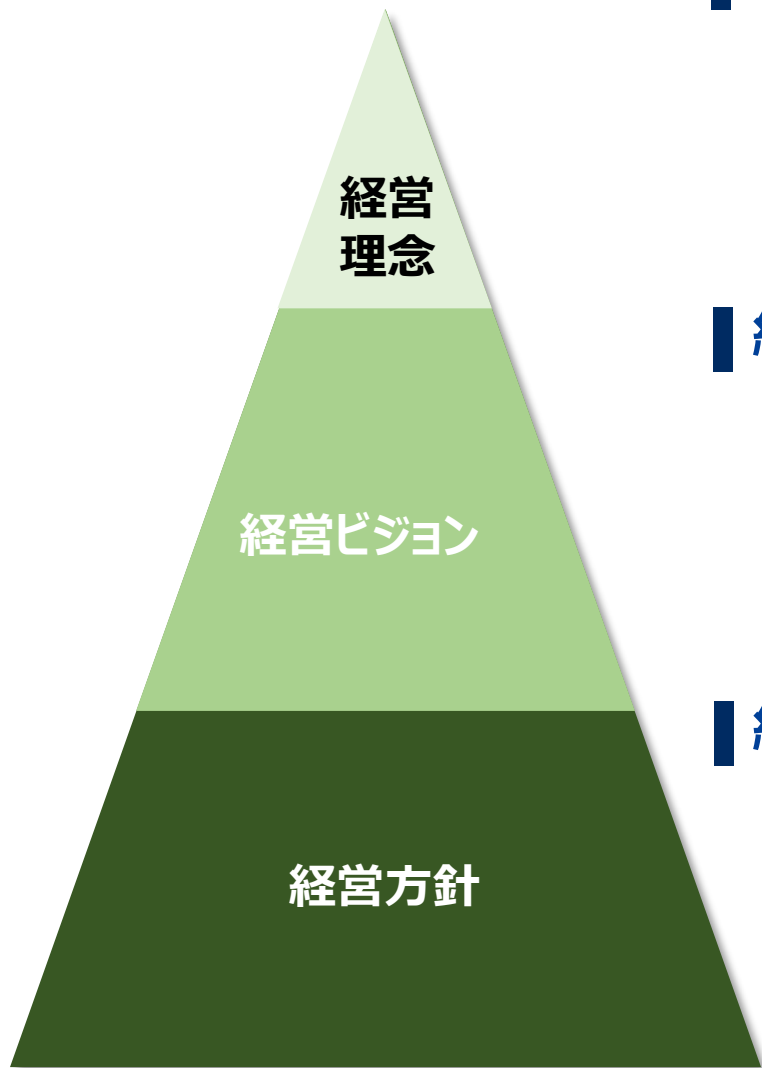
### 海外事業の拡大

- ・インドにてデバイス事業会社営業開始
- ・中国にてソリューション事業会社営業開始

### 技術部門主導による事業会社間の リレーションシップ強化とシナジー創出

- ・技術戦略コミッティ設立によるグループシナジー創出の取り組みを強化
- ・モデルベース開発関連においてグループ技術連携によるビジネス拡大

# 新中期経営計画 Make New Value 2023



## 経営理念

# 創造と挑戦

創造: 全従業員が変化に適応し、新たな価値を創造し続ける

挑戦: 全従業員が現状に満足することなく、更なる成長に挑戦し続ける

## 経営ビジョン

先進エレクトロニクスで未来を創造する

ソリューションデザインカンパニー

『モビリティ社会』の未来と、『製造業のものづくり』の未来に対して、デジタルトランスフォーメーションで新しい価値をデザインし、持続可能な社会に貢献する企業グループを目指します。

## 経営方針

SDGs/ESG経営を推進、企業価値を向上させる

- ・コア事業の拡大により強固で持続的な成長を目指す
- ・新高付加価値事業の創出で収益性向上を目指す
- ・ヒトと組織とシステムの高度化によって事業基盤強化を目指す
- ・企業価値の向上によりステークホルダーから信頼され選ばれる企業グループを目指す



## イノベーションによる価値創造と経営基盤強化により、企業価値を最大化

～SoCビジネスとソフトウェア・エンジニアリング・サービスによる価値提供～

モビリティ社会の発展に貢献する  
エレクトロニクスカンパニー



～DXファクトリー統合サービス市場での価値提供～

ものづくりを支える  
エンジニアリングパートナー



～DX業務改革～

経営の高度化  
と効率化

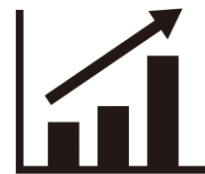


～企業変革～



ビジネスイノベーションによる  
収益性の高い事業ポートフォリオを創出

～計数計画～



売上高	1,700億円
営業利益	50億円
ROE	8%

～従業員エンゲージメントの推進～



ビジョンを共有、従業員と  
二人三脚で未来を創造

～企業価値の向上～



ステークホルダーの  
信頼性と評価向上

～SDGs/ESG経営の推進～



社会課題の解決  
への貢献

SDGs/ESG経営の社内浸透を図り、中期経営計画に定める重点施策の推進を通じて持続可能な社会の実現に貢献

◇注力領域事業拡大

- ▶車載SoC事業拡大
- ▶DXファクトリー統合サービス市場での価値提供

◇グローバルビジネス拡大



◇ビジネスイノベーション活動推進

◇エンジニアリングビジネス強化



『モビリティ社会』と『製造業のものづくり』の未来に新しい価値をデザインし、持続可能な社会に貢献



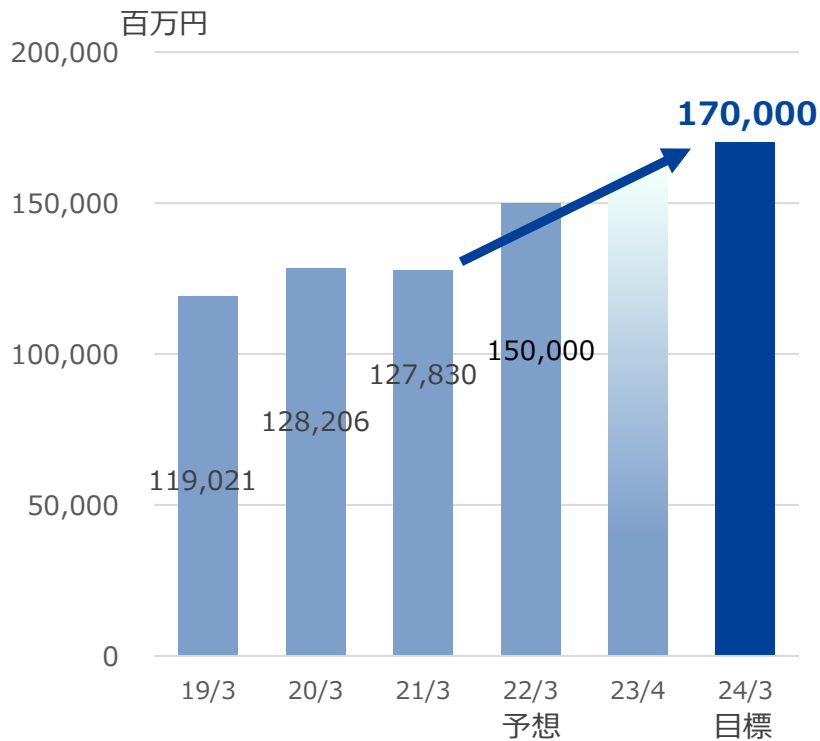
- ◇DX推進、従業員エンゲージメント向上
- ◇資本政策/財務戦略強化
- ◇ステークホルダーエンゲージメント充実

# 数値目標

## 売上高

**FY23 1,700億円**

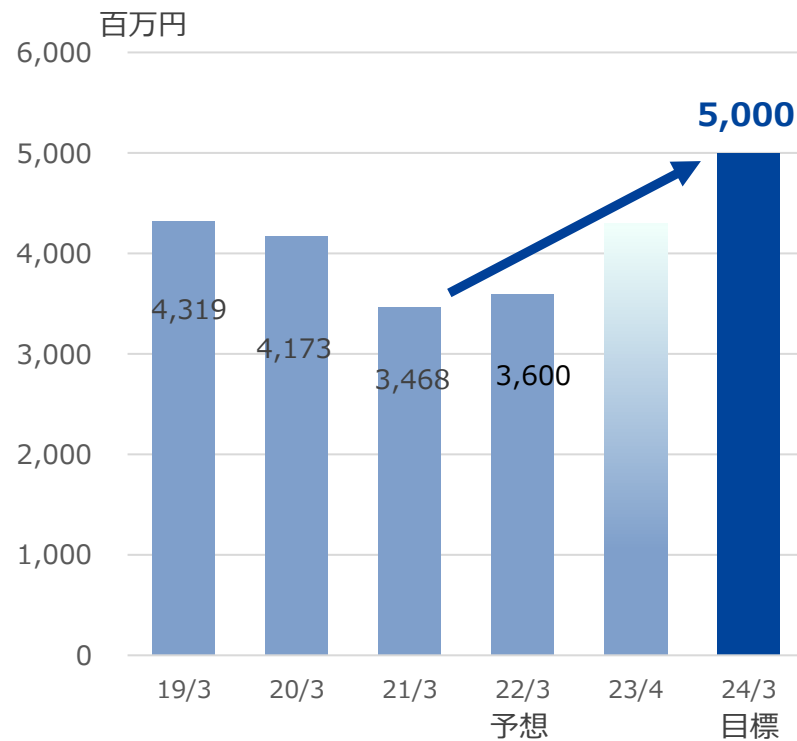
- ・成長基調を継続
- ・コア事業での着実な伸長



## 営業利益

**FY23 50億円**

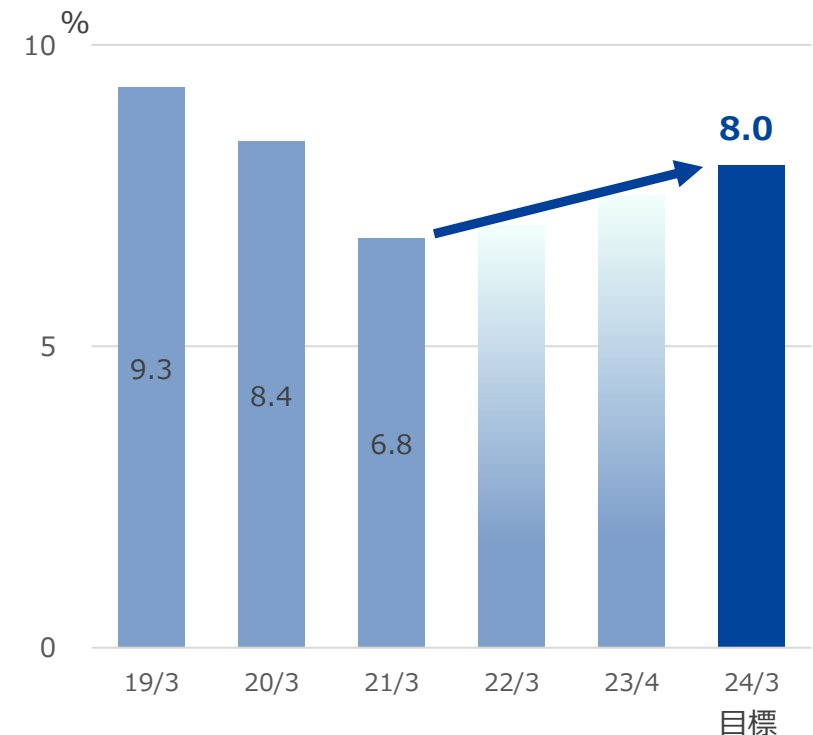
- ・競争激化など厳しい環境が続くが、高付加価値事業創出などによる営業利益率の確保



## ROE

**FY23 8.0%**

- ・コア事業の利益率維持、向上
- ・高付加価値事業創出への投資
- ・業務効率の改善



## 4つの重点戦略を推進

	①-1 デバイス事業	①-2 ソリューション事業
① コア事業拡大	[注力事業拡大] ● 車載SoC事業拡大 ● ソフトウェア・エンジニアリング確立	[注力事業拡大] ● DXファクトリー統合サービス市場での価値提供
② 新高付加価値事業創出	①-3 グローバルビジネス拡大	
③ 事業基盤強化	● ビジネスイノベーション企画推進活動 ● エンジニアリングビジネス強化	
④ 企業価値向上	● 全社プロジェクト活動によるDX推進 └ サプライチェーンマネジメント改革 ● プロフェッショナル人材育成 ● 従業員エンゲージメント向上 ● グループ運営の最適化追求	
	● SDGs/ESG経営推進 ● 資本政策/財務戦略強化 ● ステークホルダーエンゲージメント充実	

## ①-1 コア事業拡大 デバイス事業

事業環境とともに変化するニーズを的確に捉えた付加価値提供

様々な変化に対応し「モビリティ社会の発展に貢献するエレクトロニクスカンパニー」となる

### SoCを基軸にした付加価値創造

#### ソフトウェアファーストの クルマづくりへの貢献

- ・ CASE領域での開発サポート充実
- ・ 次世代モデルへの新価値創出
- ・ システム視点での価値創造



### ソフトウェア・エンジニアリング確立

#### お客様のコトづくりに ハードウェア・ソフトウェアで貢献

- ・ ソリューションビジネスによる付加価値創造
- ・ ソフトウェアビジネスの自立化
- ・ Vehicle OS の追求



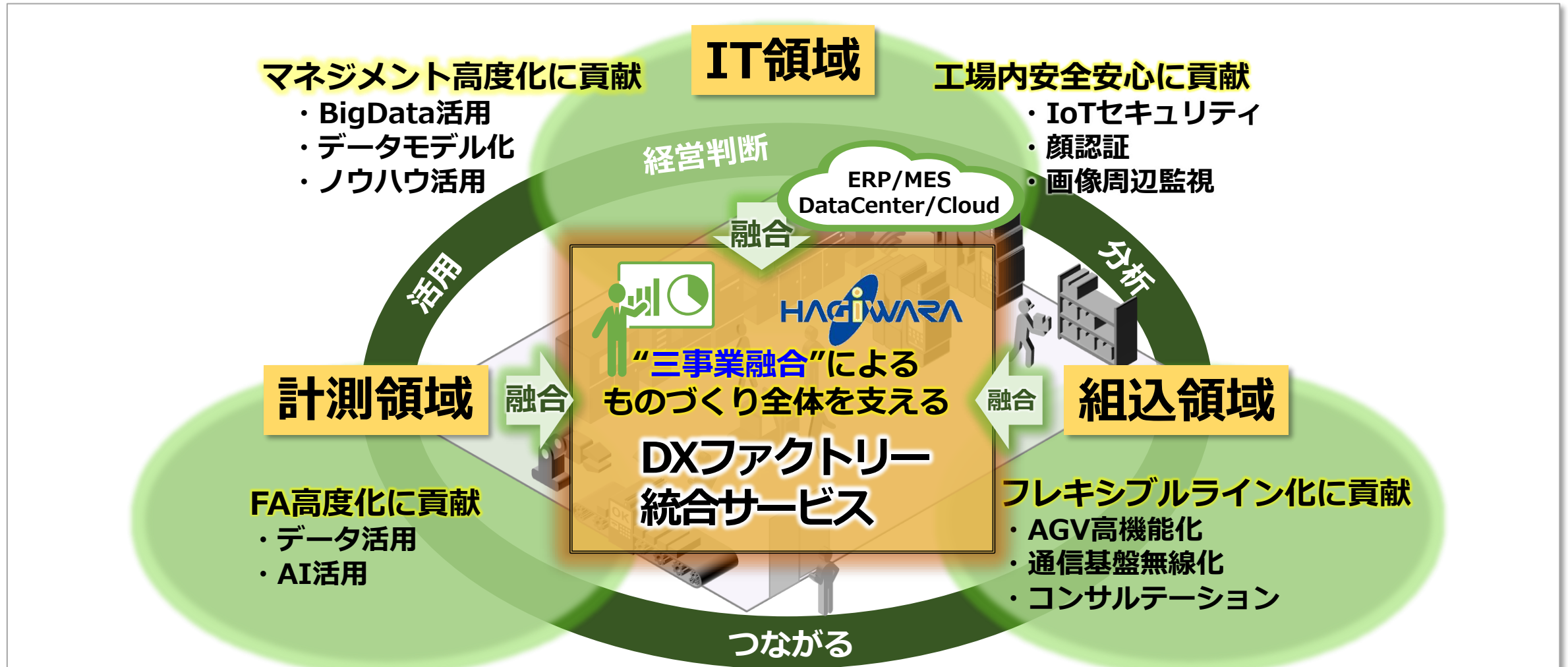
- ・ モビリティ社会の発展を支え、付加価値をもたらす
- ・ 持続的な成長を通じ、社会の発展に貢献する

エレクトロニクスカンパニー



## ①-2 コア事業拡大 ソリューション事業

■ 三事業融合によるデータを活用したDXファクトリー統合サービス市場で価値提供し「ものづくりを支えるエンジニアリングパートナー」となる



## ①-3 コア事業拡大 グローバルビジネス拡大

- 日系／ローカル顧客向け現地事業拡大に向けた体制強化による顧客サポートの充実
- インド・中華圏での新たな市場開拓、ビジネス規模拡大に適った北米事業の効率化推進



## ② 新高付加価値事業創出

### (企業変革) イノベーションによる収益性の高い事業ポートフォリオの創出

『創造と挑戦』による、他社に先駆けた価値提供、イノベーション創造型の事業創造を実現





## ② 新高付加価値事業創出 ～製品サービス事例

### 高精度AIカメラシステム

建設機械やフォークリフトの「人」と「モノ」を検知、接触事故の防止に貢献。

#### <産業車両用 人・モノ検知システム>

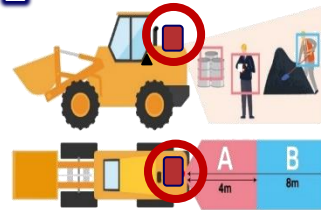
- ・高精度・高感度AIカメラシステムにより、様々な姿勢の「人」を高速検知。
- ・暗所や狭い室内でも、人・モノを高速・高精度で判別。
- ・自動校正機能搭載で、経年劣化に対応、ヘビーデューティー仕様にも対応。

#### ステレオカメラ&AI

人とモノを見分け、重大事故リスクを抑える



ステレオカメラ



検知距離 8 m、検知範囲を自由に設定可能

適用例

- A** 人（作業員）や障害物関係なくに警報を発生。
- B** 人（作業員）と障害物を区別しながら検知。人を検知した瞬間に警報を発生。

#### <作業範囲内人検知AIモニタリングシステム>

- ・デジタルサウンドとAIでモニタリング、高速・高精度で人を検知して警告。
- ・上空からの視点でデジタルカメラのクリアな映像をリアルタイムに出力。
- ・高速・高精度AIで5m以内の人・モノを見分ける。

#### サウンド&AI

デジタルサウンド映像で、5m範囲内の「人」を検知。



検知角 270度



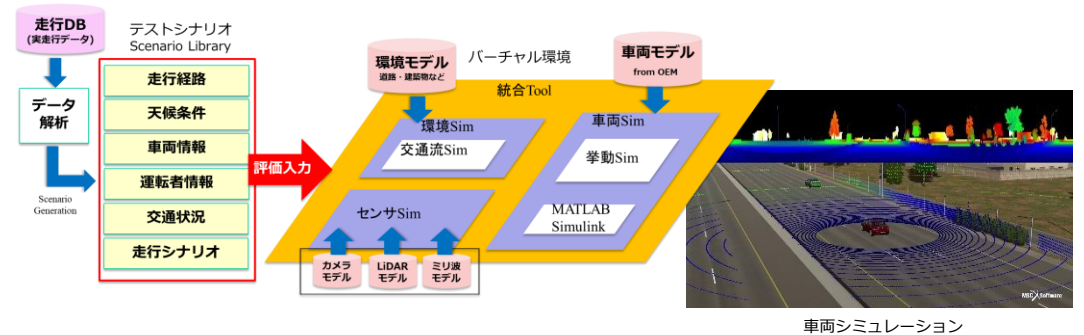
ヘビーデューティー対応

### 自動運転評価システム

自動運転開発の評価に必要な高品質な走行テスト・検証データを提供。

#### <バーチャルデータ活用開発>

- ・実データから高品質な評価シナリオデータを生成し提供。
- ・収集困難なシナリオ生成でヒヤリハット/センサ評価を支援。



車両シミュレーション

#### <リアルデータ活用支援>

- ・計測車両で収集した走行データおよび認識正解データを提供。
- ・学習・評価用の走行データ提供により画像認識評価を支援。
- ・不規則な形状の対象物を明瞭に検出。



走行データ計測車両



グローバルでデータ収集



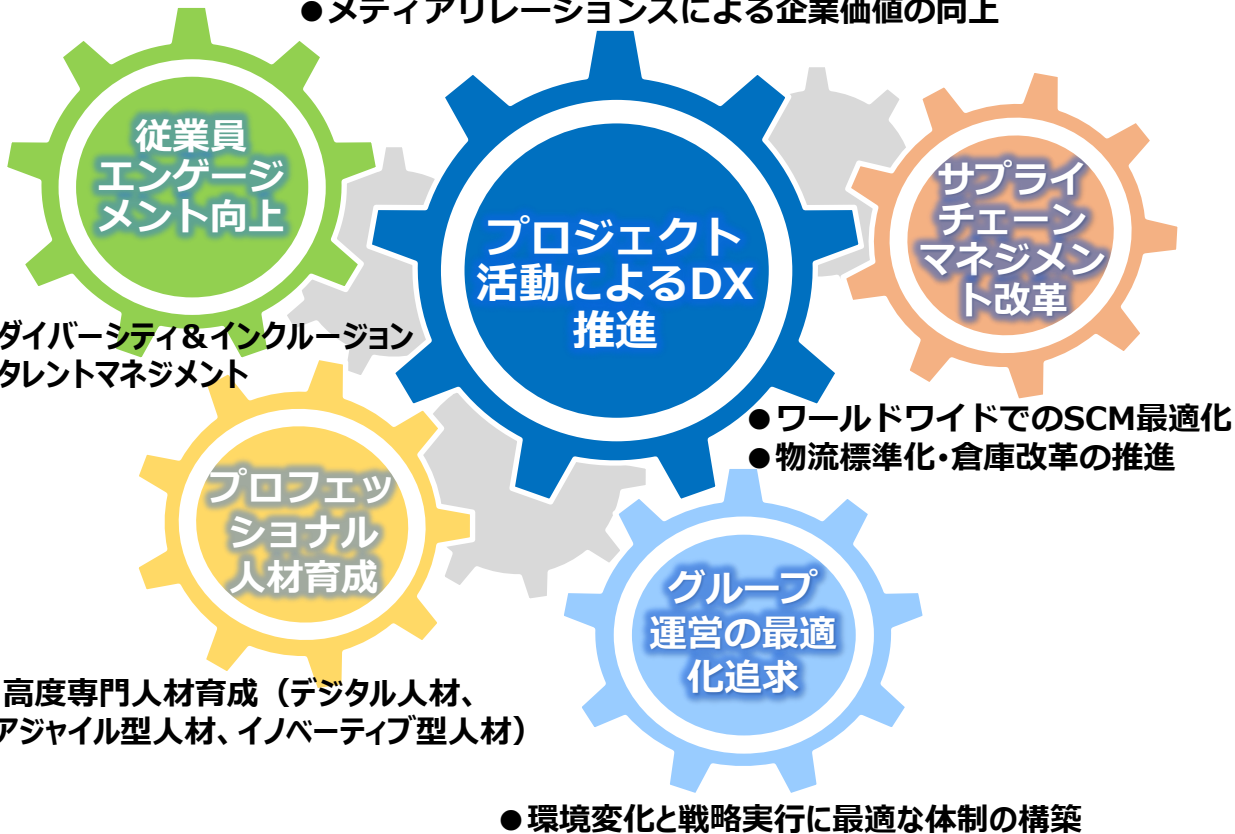
Semantic Segmentation

### ③ 事業基盤強化 ④ 企業価値向上

成長戦略を確実に進めるための事業基盤の強化を図るとともに、社会課題の解決に貢献する活動をより一層推進しながら、ステークホルダーの信頼向上と企業価値向上に努めて参ります。

#### 成長戦略を支える事業基盤の強化

- 社内デジタル化による業務改革と業務付加価値向上
- SFA（営業支援システム）・CRM（顧客管理システム）活用
- メディアリレーションズによる企業価値の向上



#### 更なる企業価値向上を目指した取り組み

##### SDGs/ESG経営推進



- 環境志向、社会貢献活動の促進
- グループ一体でのSDGs/ESG実践、推進体制強化
- ガバナンス強化、強靱なリスクマネジメント構築

##### 資本政策/財務戦略強化

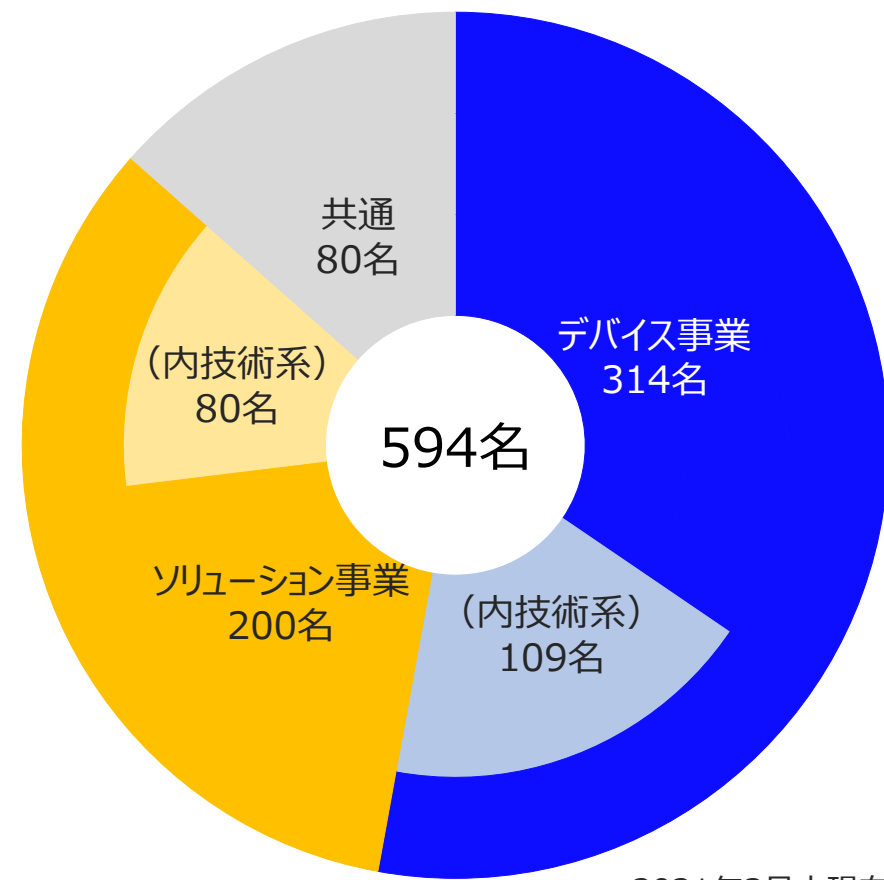
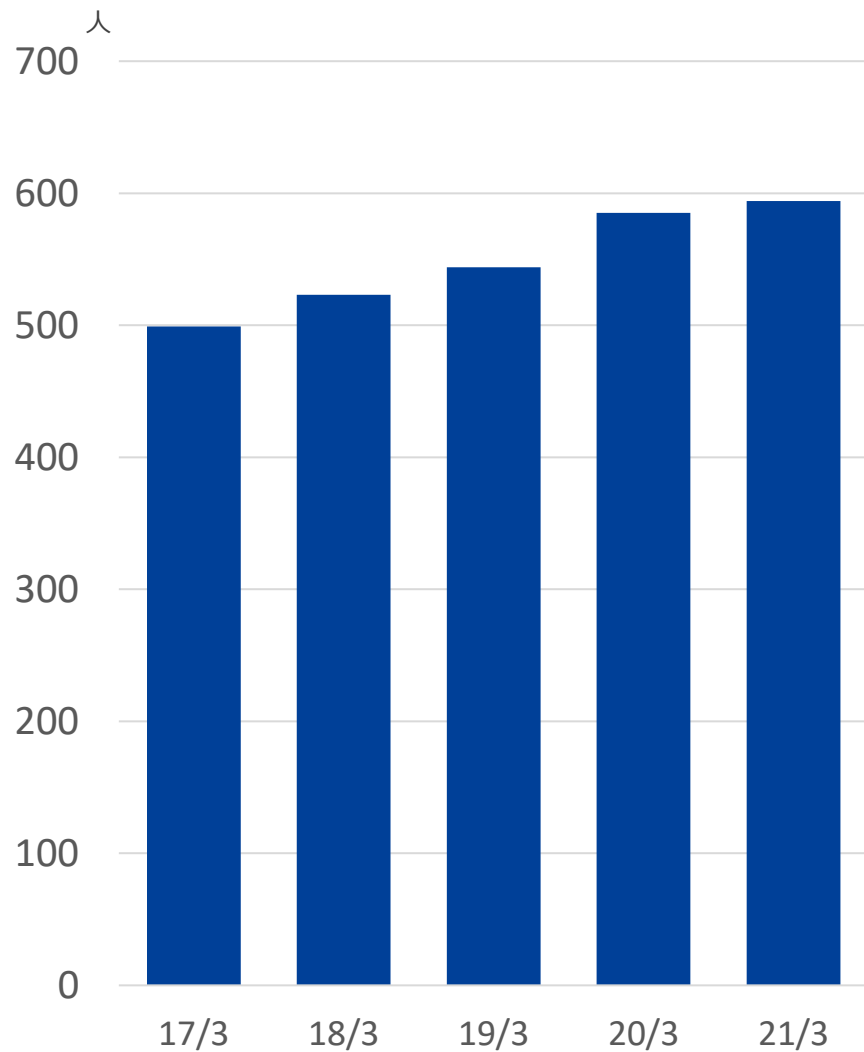
- 健全な財務基盤の構築
- 経営マネジメント強化による強い事業ポートフォリオ構築

##### ステークホルダーエンゲージメント充実

- IR情報開示の充実
- 株主、投資家とのコミュニケーション

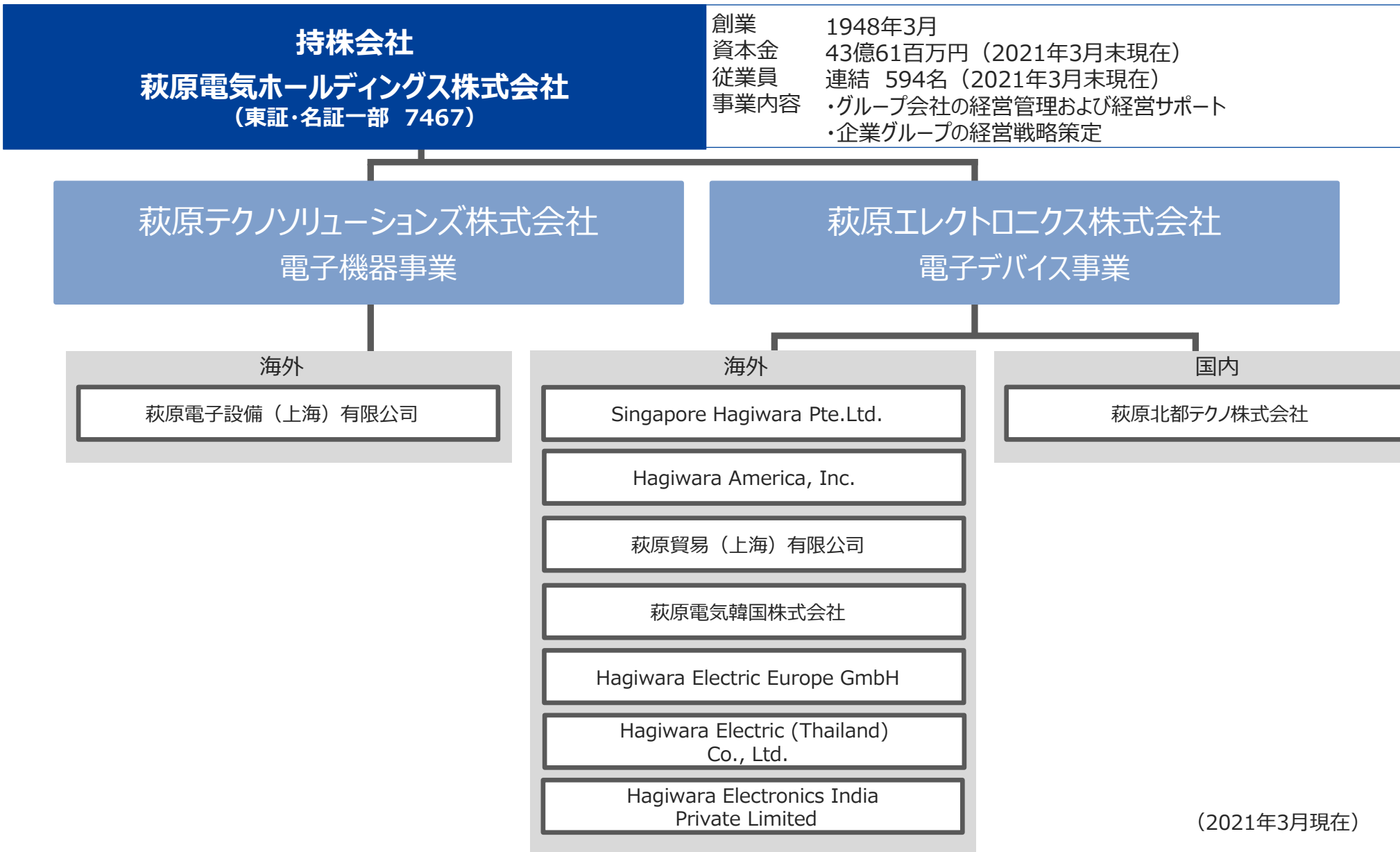
補足

# 人員の構成



2021年3月末現在  
(臨時従業員は除く)

# 体制図





# 創造と挑戦

先進エレクトロニクスで未来を創造する  
ソリューションデザインカンパニー

引き続きご支援ご鞭撻を  
よろしくお願い申し上げます

本資料のうち、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基き当社で判断したものであります。  
予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

# 用語集

P.21	AUTOSAR	Automotive Open System Architecture 欧州自動車メーカーを中心に、車載ソフトウェアの共通化を目指して設立された団体。 また、車載ソフトウェアの共通化を実現するためのプラットフォームの仕様の名称
P.23	PoC	Proof of Concept 概念実証。新しい概念や理論、原理、アイデアの実証を目的とした検証やデモンストレーション
P.24	ERP	Enterprise Resources Planning（企業資源計画（を実現させるための基幹系情報システム））
P.23	SDGs	Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標） 2015年の国連サミットで採択された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17ゴール・169のターゲットから構成される。
P.23	ESG	Environment(環境)、Social（社会）、Governance（ガバナンス）
P.24	SoC	System-on-a-chip 1個の半導体チップ上にシステムの動作に必要な機能の多く、あるいはすべてを実装した集積回路
P.24	DX	Digital Transformation 将来の成長、競争力強化のために、新たなデジタル技術を活用して新たなビジネス・モデルを創出・柔軟に改変すること。
P.28	Vehicle OS	パソコンの基本ソフト（OS）に相当する自動車搭載用標準ソフトウェア
P.28	MES	Manufacturing Execution System（製造実行システム） 工場の生産ラインの各部分とリンクすることで、工場の機械や労働者の作業を監視・管理するシステム
P.31	5G/6G	第5世代移動通信システム/第6世代移動通信システム
P.31	マルチモーダルサービス	移動の際、目的地までのルートや移動手段を検索し、料金の支払いや予約まですべてを行うことができるサービス（マルチモーダルモビリティサービス）
P.31	Society5.0	サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会
P.33	ダイバーシティ&インクルージョン	人材の多様性（＝ダイバーシティ）を認め、受け入れて活かすこと（＝インクルージョン）